

# 神戸高专における生成 AI の利活用について

学生のみなさんへ

近年、文章、画像、プログラム等を生成する AI 技術が急速に発展し、教育、研究、社会生活のさまざまな場面で活用が広がっています。

生成 AI は、情報収集、文章作成の補助、アイデア出し、プログラム作成の支援などに活用でき、適切に利用することで、学習効果を高める可能性があります。

一方で、生成 AI の出力には、事実と異なる情報や根拠が不明確な内容が含まれることがあります。

また、著作権、個人情報、情報セキュリティ、剽窃、不正行為などに関する問題が生じる可能性もあります。

(剽窃 (ひょうせつ) とは、他人の著作物やアイデアを、あたかも自分のもののように発表する行為)

本校では、生成 AI の利用を一律に禁止するのではなく、その特性とリスクを理解したうえで、学習・研究活動を補助する道具として、適切かつ責任をもって利活用することが重要であると考えています。

## 【 生成 AI の利用にあたっての留意事項 】

### 1. 学習における主体性

生成 AI は、学習を助ける有用な道具の一つです。しかし、生成 AI が示した内容をそのまま受け入れるのではなく、学生自身が考え、理解し、判断することが大切です。

### 2. 出力内容の確認

生成 AI は、もっともらしい文章を作成できますが、その内容が常に正しいとは限りません。生成 AI の出力を利用する場合は、信頼できる資料、公式情報、文献等と照らし合わせ、内容を確認することが必要です。

### 3. 著作権・剽窃への配慮

生成 AI が作成した文章、画像、プログラム等には、既存の著作物と類似した内容が含まれる可能性があります。生成 AI の出力をそのまま自分の成果物として提出・発表することは、剽窃や不正行為と判断される場合があります。

### 4. 個人情報・機密情報の保護

個人情報、未公開の研究内容など、外部に漏れてはならない情報を生成 AI に入力してはいけません。利用するサービスの規約や設定を確認し、情報漏洩のリスクに十分注意する必要があります。

## 5. 授業・課題等における利用

生成 AI の利用を認めるか、制限するか、または使用条件を設けるかは、授業、実験や課題等の目的によって異なります。授業や課題で生成 AI を利用する場合は、担当教員の指示を必ず確認してください。

### 【 今後の生成 AI 活用に向けて 】

生成 AI は、論点整理、情報収集、文章の校正、アイデア出し、プログラム作成の補助など、学習・研究活動を支援する道具として活用できる可能性があります。

一方で、生成 AI は万能ではなく、利用場面や利用方法を適切に判断することが重要です。本校での学びは、技術者としての思考力、判断力、倫理観を高めることを目指しています。

生成 AI を単に答えを得るための手段としてではなく、自分の学びを深めるための道具として、主体的に使いこなしていくことを期待します。

なお、生成 AI に関する技術、社会的なルール、法制度、利用規約等は今後も変化していくことが予想されます。

本校では、今後の動向を踏まえ、必要に応じて内容を見直していきます。